

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度の「全国学力・学習状況調査」の結果について報告いたします。この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、小学6年生と中学3年生を対象に行われているものです。

内容は「教科(国語、算数・数学、理科)に関する調査」と「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」の2つです。

1. 「教科に関する調査」の結果

【国語】

全体としては全国平均と同等です。昨年度に比べて読む能力に改善が見られました。しかし、継続して書く能力に弱点がみられます。

【数学】

全体としては全国平均と同等です。データを活用する領域に弱点がみられず。また、ほとんどの知識技能は十分ですが、数と式の素因数分解の問題だけ全国平均と大きく差が開きました。

【理科】

全体としては全国平均の正答率をやや下回っています。それぞれの領域内の中でも正答率に差がありますが、他の2教科よりも無回答率が低いことが特徴でした。

2. 「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の結果

「基本的な生活習慣や学習習慣」は継続して全国平均を上回っています。「学習への関心」は全国平均を下回っています。しかし、各回答を見てみると、自信を持って「している」と答える生徒は少ないのですが、「どちらかといえばしている」と答える生徒は全国平均より多いです。これは「規範意識・自己有用感」の結果にも表れています。明確に自分の意見を伝える場面を増やし、それを目標に向かって建設的に形成していくことが必要だと考えられます。

また、本校の強みはICT機器の活用です。使用頻度に関する回答はどれも全国平均を大幅に上回っています。更にICT機器を使った勉強を「役に立つ」と思っている生徒も全国平均を大幅に上回っていることは、大切な視点だと考えられます。

3. 今後の取り組みについて

まず、本校の学校教育目標を改めてお知らせいたします。

【学校教育目標】

一人一人を生かし 人間性豊かな生徒の育成に努める

【具体目標】

- ・未来を創る力をつけよう
- ・互いに認め合おう
- ・たくましく生きよう

【目指す生徒像】

- ・自ら課題を見つけ、自ら学び、未来を創る学力を身につけた生徒
- ・生命を大切にし、互いに認め合える生徒
- ・自らを律し、礼儀正しい生徒
- ・健康でたくましい体力をもった生徒

昨年度より国から示されている学習指導要領が改訂されました。これは学校教育法等にもとづいて、あらゆる教育活動を行う際の基準となるものです。

つまり、改訂されたということはこれまでの教育活動を見直し、変化を求められている部分が少なからずあるということです。本校では調査の実施後に分析を行い、授業改善を図り、学力向上に向けた取り組みを一層充実していきたいと考えています。そのために全職員で目標を都度確認し、達成のために組織的に取り組んでいます。

目標達成のためには、地域の方々やご家庭の理解と協力が必要不可欠です。生徒、教職員、保護者、地域の方々が、学校教育目標達成という同じ視点で考えて動いた時に、大きな成果をあげることができるはずです。これからも本校の教育活動に対してご理解とご協力をよろしくお願いいたします。